

相浦機械、デッキクレーン生産8000台達成、国内最多

デッキクレーン生産8000台達成
相浦機械、国内最多

相浦機械は4日、国内でのデッキクレーンの累計生産台数が国内最多となる8000台を達成したと発表した。相浦本社工場でこのほど、国内生産累計8000台目となるIHI製油圧機器を使用したデッキクレーンを完成した。

相浦機械は昨年5月、IHIから船用機械事業の譲渡を受け、“IHI History Continue on IKNOW”をモットーにIHI製油圧機器を使用したデッキクレーンの製造に取り組んできた。

相浦機械は、前身の辻産業時代を含めると国内最古参のメーカーで、合計1万3000台以上のデッキクレーン生産実績を持つ国内トップメーカーに成長しつつある。相浦機械として累計8000台目の30トン吊りクレーンは、大島造船所が国内船主向けに建造するバルカーに搭載される。

相浦機械は、ハッチカバーを主力製品として、チップアンローダー、ガントリークレーン、石炭や砂用ディスチャージャーなど、船用荷役機械の分野で幅広く活躍しており、さらにIHIのクレーンを加えて製品メニューの一層の充実を図っている。